

アプライド・マテリアルズ (AMAT)

四半期・9ヶ月通算業績にて増収増益増配。米国・欧州向け売上は停滞ないし低下。最先端チップ向けの DARM 装置が伸長。

ナスダック | オンライン市場 | 業績フォロー

BLOOMBERG AMAT:US | REUTERS AMAT.OQ

直近業績：8月15日発表の24年10月期の第3四半期業績は、前年同期比5.5%増の売上高が67.8億USD、営業利益が同7.8%増の19.4億USD、最終利益が同9.3%増の17億USDとなった。9ヶ月通算業績では売上高が前年同期比1.7%増の201億USD、最終利益が12.2%増の54.4億USDであった。売上には成長鈍化がみられるものの、粗利率や営利率には継続的な改善が見られている。最終利益には9ヶ月通算で投資有価証券による金利等の営業外収益（純額）6.1億USDが寄与しており、米国の高金利から好影響を受けている。営業キャッシュフローは9ヶ月通算で前年同期比15%減の61億USD、フリーキャッシュフロー（営業キャッシュフローから資本支出を除いた額）は同16%減の53億USDとなり、運転資金や設備投資への投資増がキャッシュフロー低下に寄与した。

事業展開・戦略：24年第3四半期の地域別売上では、米国が前年同期比1.3%増の10億USD、ヨーロッパ向けでは同49%減の3億USDと、欧米向けには鈍化・低下傾向が見られた。これに対して、東南アジア向けが同138%増の4億USD、中国向け（台湾除く）が同24%増の21億USDと、それぞれ大きく伸ばした。セグメント別では半導体製造装置などを含む「半導体システム」売上が同5%増の49億USDであり、その中で特に大きく伸ばしたのが同49%増となるDRAM（揮発性メモリ）向け装置である。

投資論点・リスク：半導体システムセグメントにおけるDRAM関連装置の伸びは、データセンター向け半導体における広帯域（HBM：High Band Width）メモリの需要増を受けたものと考えられる。特徴数の多い大規模データを扱うAI技術の関係上、AI半導体の需要増に伴いDRAM関連装置の継続的な需要増加が見込まれる。ヘテロジニアスインテグレーション（HI）によるチップ製造は歩留りが課題であり、その改善とともに装置需要が伸びていくだろう。同社の発表によればGAA（Gate All Around）型と呼ばれる3D集積技術を採用することで、現行の半導体と比べて33%もの省電力の可能性が示唆されている。

当第3四半期において約16四半期ぶりに長期負債により6.9億USDを調達。米金利低下が予想される中で、負債活用による積極投資が見込まれる。

四半期業績（10月期）	4Q23	1Q24	2Q24	3Q24
売上高（百万USD）	6,723	6,707	6,646	6,778
当期利益（百万USD）	2,004	2,019	1,722	1,705
希薄化後EPS（USD）	2.38	2.19	2.06	2.05

通期実績推移（10月期）	FY21	FY22	FY23	FY24(F)
売上高（百万USD）	23,063	25,785	26,517	27,101
売上総利益（百万USD）	10,914	11,993	12,384	12,878
粗利率（%）	47.32	46.51	46.70	47.52
営業利益（百万USD）	6,889	7,788	7,654	7,879
営利率（%）	29.87	30.20	28.86	29.07
当期利益（百万USD）	5,888	6,525	6,856	7,217
希薄化後EPS（USD）	6.40	7.44	8.11	8.64

引用：企業公表値、ブルームバーグ（Fはブルームバーグ予想値）

フィリップ証券株式会社・リサーチ部
三角友幸

TEL：+81 3 3666 0707（直通）

E-mail：tomoyuki.misumi@phillip.co.jp

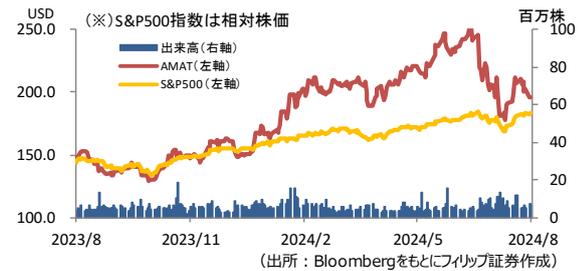
予想配当（USD）	1.44
株価（USD）	192.89
実績PER（倍）	22.68
予想PER（倍）	22.58
時価総額（10億USD）	159.0
企業価値（10億USD）	156.5
3ヵ月平均売買代金（百万USD）	1,341.2

* 配当予想と予想PERはブルームバーグ、各数値は8/28日終値による
* 実績EPSは22年通期決算のEPSに基づく

会社概要

米カリフォルニアを本拠地とする世界最大級の半導体製造装置・ディスプレイ製造装置メーカー。1967年創業、1972年にNASDAQ上場。主要セグメントは半導体製造における前工程・後工程における製造装置を提供する①『半導体システム』、半導体製造における工場配置や製造プロセスなどのコンサルティングを行う②『アプライド・グローバル・サービス（AGS）』、OLEDなどの先端ディスプレイ製造装置を提供する③『ディスプレイ関連市場』。現CEOはゲイリー・E・ディッカーソン氏。

株価推移



①地域別売上推移	3Q23	2Q24	3Q24	YoY
米国	1,039	853	1,053	1.3%
ヨーロッパ	661	289	339	-49%
日本	478	453	555	16%
韓国	988	988	1,102	12%
台湾	1,345	1,019	1,148	-15%
東南アジア	180	213	428	138%
中国	1,734	2,831	2,153	24%
アジア太平洋地域売上比率	73.5%	82.8%	79.5%	-

②セグメント別売上推移	3Q23	2Q24	3Q24	YoY
半導体システム	4,676	4,901	4,924	5%
ファウンドリ・ロジック	3,694	3,186	3,545	-4%
DRAM	795	1,568	1,182	49%
フラッシュメモリ	187	147	197	5%
アプライドグローバルサービス	1,464	1,530	1,580	8%
ディスプレイ関連市場	235	179	251	7%

③セグメント別利益推移	3Q23	2Q24	3Q24	YoY
半導体システム	1,618	1,701	1,712	6%
アプライドグローバルサービス	429	436	467	9%
ディスプレイ関連市場	37	5	16	-57%

④株主還元推移	4Q23	1Q24	2Q24	3Q24
自社株買い（百万USD）	700	766	798	891
配当総額（百万USD）	268	266	266	331
DPS（USD）	0.32	0.32	0.32	0.40
配当性向（%）	13.4%	13.2%	15.4%	19.4%

引用元：図表①～④企業およびブルームバーグデータにもとづく

* 図①～③の金額の単位はそれぞれ百万USD

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 三角 友幸

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。